

# 一般社団法人社会医学系専門医協会社員承認規程

一般社団法人社会医学系専門医協会定款（以下、「定款」という。）第6条に基づく社員の承認の手続きは以下の通りとする。

## 1. 基本的考え方

- 社会医学は、医学を共通基盤とし、臨床医学が病める個人へのアプローチを中心とするのに対し、実践的な個人へのアプローチを有しながらも、広範な健康レベルを有する集団や社会システムへのアプローチを中心とする特徴を有している。また、医学に留まらず、科学全体やさらに経営管理等の人文系にわたる広範な学問体系を応用して理論と実践の両面から保健・医療・福祉・環境とそれらとの社会のあり方を追求する学問である。
- 今般、社会医学の発展をともに志す学会を正社員および友好社員とすることとし、本規程を定める。

なお、友好社員の申込および審査手続は以下のとおり定める。

## 2. 申し込みの方法

- 友好社員になろうとする者（以下、「申請者」という。）は、以下の書類を一般社団法人社会医学系専門医協会事務局（以下、「事務局という。」）に提出する。
  - (1) 加盟申請書（別紙）
  - (2) 定款又は寄付行為
  - (3) 理事及び監事の名簿
  - (4) 認定、許可、認可等及び登記に関する書類
  - (5) 理事会及び社員総会の議事に関する書類
  - (6) 事業計画書及び収支予算書
  - (7) 事業報告書及び計算書類等
  - (8) 監査報告書

## 3. 社員総会における審査

- 社員総会においては、申請者から提出された書類を審査し、申請者からのヒアリングを実施して、申請者が定款第4条に定める以下の事業のうち、どの事業への協力が可能かを判定する。
  - (1) 社会医学系の専門医、指導医の育成と生涯学習に関する事業
  - (2) 社会医学系専門医認定試験の実施に関する事業
  - (3) 社会医学系の専門医、指導医の資格の認定・更新に関する事業
  - (4) 専門研修プログラムと研修施設の認定に関する事業
  - (5) 社会医学系専門医制度の評価と発展に関する事業

- (6) 国内外の関連団体との連携及び協力
- (7) 社会医学系領域の成果の普及及び啓発活動
- (8) その他、目的を達成するために必要な事業
  - 社員総会において、以下の判定を行い、理事長名で申請者に判定結果を通知する
    - 友好社員 (1) から (8) に協力が可能と判断された場合
    - 却下 上記が満たされない場合

**【別紙】**

年 月 日

一般社団法人社会医学系専門医協会理事長 殿

学会・団体名

代表者名

一般社団法人社会医学系専門医協会加盟申請について

この度、一般社団法人社会医学系専門医協会に加盟いたしたいので、別添のとおり加盟申請書を提出のうえ申請いたします。

# 一般社団法人社会医学系専門医協会加盟申請書

学会・団体名 学会所在地 〒 電話番号 (     )     — E-mail	代表者氏名 代表者勤務先・役職名 電話番号 (     )     — E-mail
[学会設立年] 西暦         年         月         日 法人格の有無 [ 有         無 ] (いずれかにチェックを入れて下さい) 法人格が有る場合         年         月         日設立 法人の区分名 [学会の歴史的経緯] [一般社団法人日本医学会連合との関係] 一般社団法人日本医学会連合への加盟の有無 [ 有         無 ]	
[会員構成] ・医師役員数         執行部役員数         名中         医師数         名 ・学会への会員入会資格	
[学術集会] ・総会開催頻度         回(年)     ・開催形態(会場開催, Web開催, ハイブリッド開催) ・各総会参加者概数         名	
[協力が可能な事業] (1) 社会医学系の専門医、指導医の育成と生涯学習に関する事業 [ 可能     不可能     ] 【具体的な内容】 (2) 社会医学系専門医認定試験の実施に関する事業 [ 可能     不可能     ] 【具体的な内容】 (3) 社会医学系の専門医、指導医の資格の認定・更新に関する事業 [ 可能     不可能     ] 【具体的な内容】 (4) 専門研修プログラムと研修施設の認定に関する事業 [ 可能     不可能     ] 【具体的な内容】 (5) 社会医学系専門医制度の評価と発展に関する事業 [ 可能     不可能     ] 【具体的な内容】 (6) 国内外の関連団体との連携及び協力 [ 可能     不可能     ] 【具体的な内容】 (7) 社会医学系領域の成果の普及及び啓発活動 [ 可能     不可能     ] 【具体的な内容】 (8) その他、目的を達成するために必要な事業 [ 可能     不可能     ] 【具体的な内容】	

[機関誌]

・機関誌発行の有無 (有 無 )  
・英文誌名  
年間発行回数 (最近 5 年間の平均) 回 (年)  
年間総頁数 (最近 5 年間の平均) 頁  
冊子体での発行の有無 (有 無 )  
1 号の発行部数 (最近 5 年間の平均) 部  
査読制度の有無 (有 無 )  
Index Medicus への採録の有無 (有 無 )  
最新の Impact Factor ( )  
主なる配布先 国内 部, 国外 部

・和文誌名  
年間発行回数 (最近 5 年間の平均) 回 (年)  
年間総頁数 (最近 5 年間の平均) 頁  
冊子体での発行の有無 (有 無 )  
1 号の発行部数 (最近 5 年間の平均) 部  
査読制度の有無 (有 無 )  
主なる配布先 国内 部, 国外 部

[ダイバーシティー (多様性) の状況]

- ・ 男性会員数 (総数 名、うち役員 名)
- ・ 女性会員数 (総数 名、うち役員 名)
- ・ 40 歳未満の会員数 (総数 名、うち役員 名)
- ・ 65 歳以上の会員数 (総数 名、うち役員 名)
- ・ 外国籍の会員数 (総数 名、うち役員 名)
- ・ 役員を選定方針にダイバーシティー (多様性) に関する事項が含まれているか。(有 無 )

[国際性]

・国際的な学術集会の開催の経験の有無 (有 無 )  
開催経験の有る場合  
学会として主催した国際的な学術集会の場合の名称  
学会員が個人として主催した場合の名称  
・国際学会 (常置機関) との関連 (支部等になっているか) の有無 (有 無 )  
関連の有る場合  
関連する国際学会名  
・上記国際学会 (常置機関) による欧文機関誌編集発行の有無 (有 無 )  
該当誌の有る場合, 誌名ならびにその最新の Impact Factor  
誌名 Impact Factor

[学会の運営状況]

・経理 (直近 1 年間の財務概要) 年間予算総額 千円  
収入の部: 会員会費 千円, 賛助会費 (含補助金等) 千円,  
事業費 千円 (主な収入源: ), 雑収入等 千円

支出の部：事業費 千円（機関誌刊行費，学術集会費，会議費，その他）

管理費 千円（事務費・人件費等）

・役員等構成

役員任期 年（1期）

理事長または会長 名 副理事長または副会長 名

理事 名 監事 名

評議員 名 事務局長 名

事務職員 名

## 記載上の注意事項

### 加盟申請書

#### [学会設立年]

・貴学会の設立年を記載して下さい。併せて、貴学会が法人の場合はその区分と認可年月日を記載して下さい。

#### [学会の歴史的経緯]

・貴学会設立の趣旨と現在に至る歴史的経緯をできるだけ箇条書形式で記載して下さい。

- a. 設立に至る経緯。
- b. 前身があれば、名称とその期間。
- c. 設立後の経緯としての主要な事項。

#### [会員構成]

・学会への会員入会資格は簡潔に記載して下さい。

#### [学術集会]

・貴学会の総会の開催数を記載して下さい。

#### [協力が可能な事業]

・(1)～(8)の事業の可能・不可能の何れかに○印を付けて下さい。可能に○印を付けた場合は具体的な内容を記載してください。

#### [機関誌]

・機関誌発行、査読制度の有無、Index Medicusへの採録の有無は、何れかに○印を付けて下さい。  
・冊子体で発行していない場合には、該当しないところは空欄にしてください。

#### [国際性]

・国際学会（学術集会）の開催の経験、常置機関としての国際学会との関連、ならびに国際学会による欧文機関誌編集発行について、それぞれ有無の何れかに○印を付けて下さい。  
・国際的欧文機関誌を編集発行している場合は、誌名およびその Impact Factor を記載して下さい。

#### [学会の運営状況]

・貴学会の役員（理事長、会長、副理事長、副会長、理事）名簿（A4サイズに統一）を添付して下さい。

#### (申請書作成上の注意事項)

・なるべく簡潔に記載して下さい。  
・定款等の別添資料は、A4サイズに統一して下さい。